

# KTK ひゅうまん 京都

No 511 2019年6月号

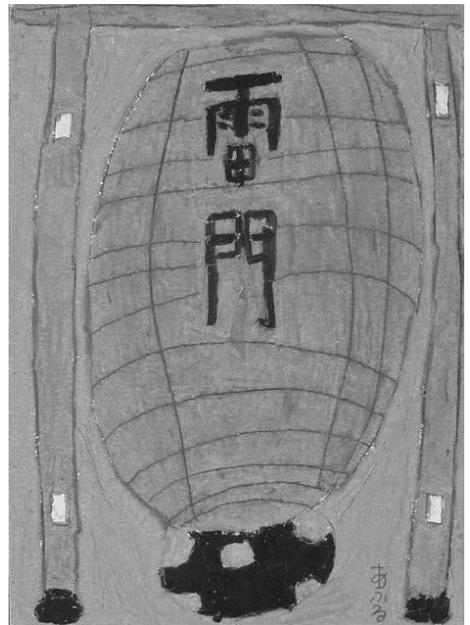
編集／京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内  
編集発行責任者／池添 素 電話&FAX(075)465-4310 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P 1 左大文字 つどめ
- P 2 常任委員会から 池添 素
- P 3 私が本当に望む生活とは… 大西里江
- P 4 車いす視点から社会を斬る 77 矢吹文敏
- P 5 聴覚障害者は訴える 26 高山正紀
- P 6 車いす裁判における尋問の重要性 大江智子
- P 7 2+2=詩 赤富士文兼
- P 8 尊厳ある暮らしの保障 中野 加奈子
- P 9 背中を伸ばしてひとと一緒に歩む 52 すぎな
- P 10 視覚障害者のサークルめぐり 90 一谷 孝
- P 11 知っ得情報 松本 美津男
- P 12 ありがとうございます・催し案内

**左大文字**

週末、広島に行ってきた。認知症の人と家族の会広島県支部の総会イベントへの参加のためだ▲イベントは支部総会セレモニーに続く3部構成で、私の講演が第1部、第2部が今話題の映画「呆けますから、よろしくお願いします」の信友直子監督と支部役員との対談、そして第3部が私や信友さんと支部役員らのディスカッションという盛り沢山のプログラム▲私にはこの映画の鑑賞は必須だったが、結局見逃したままネット等で仕入れた情報を頼りにこのイベントに臨んだ。一人娘で独身の信友監督だが、広島県呉市生まれ。自身が乳がんを患ったことをきっかけに家族の記録を撮り始め、やがて認知症の診断を受けた母(84歳)と、介護する父(95歳)の姿を撮ったのが本作だ。▲去年の11月から順次全国公開され、自主上映会も始まった。地元広島での上映は、連日満席でにぎわったという。介護に纏わる父母のエピソード、東京から広島に通いながら父母を見守る一人娘(58歳)の仕事や暮らし。対談やディスカッションでの監督の話を、男性介護者や仕事と介護の両立など私自身のテーマとも重ねながら聞いていた▲「母が認知症になったことでよかったことがあるとすれば、母への父の思いがよく分かったこと」。「カメラを向けて分かったことは、両親がお互いを思いやっていること」。介護生活の最中にある一人娘として監督の思いも痛いほどに伝わってくる▲やはり、映画を見てから望むべきだった。今日も各地の上映館を検索しながら、スケジュール帳を見ている。

つどめ



「雷門」  
渡辺あふる

# 常任委員会から

〈不当判決！〉

5月28日、旧優生保護法をめぐる国家賠償請求訴訟で、仙台地裁は憲法違反を認めながら、20年とされる除斥期間により賠償請求を棄却する旨の判決を行ないました。4月24日に制定された「旧優生保護法に基づく優生手術を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」が多くの問題点を残したまま、十分な内容で成立し、その十分さが司法の場で補われることを願いましたが、期待は大きく裏切られました。判決は、「一時金支給法」では触れられなかった旧優生保護法に基づく強制不妊手術は「憲法に違反し、無効」としながらも、子を産み育てるかどうかを意思決定する権利（リプロダクティブ権）の議

論の蓄積が少ないことを理由に

国会の立法不作為を認めず、除斥期間（不法行為の時から20年）に合理性があるとして、請求を棄却したのです。違憲を認めながら、なぜこのような結論に至るのか、素朴な市民感覚からは理解に苦しむ判決です。控訴を全面的に支持し、引き続き人権と尊厳の回復する判決への支援を広めていきましょう。

〈京障連総会開催〉

2019年度の総会は6月2日に福祉広場で開催しました。障害者の65歳問題は、岡山での浅田訴訟の勝訴判決を受け、介護保険に移行することなく、障害福祉サービスを継続する事例が全国各地で生まれてきていること。森永ヒ素ミルク中毒患者の皆さんが65歳になり、この問

題に直面していること等が報告されました。また、京都市が強行している京都市児童福祉センタートリハビリセンターと

心の健康増進センターの3施設合築問題も報告され、合築に伴う問題点や京都市の安上がりな切り捨て政策について、市民に広く知らせることなどの運動が進んでいないことへの危惧も話し合われました。記念講演は「ふつうのくらし」と題して、難病の家族を通して、おかしことや望むことを、自分の足で切り開き実現してきたことを話してくださいました。そして「普通」とは？と投げかけられ、「不通」は困る、「不痛」で快適な暮らしは人それぞれ。亡くなった娘さんは呼吸器を鳴らしてコミュニケーションをとり、ヤンチャ娘。娘を師匠と呼ぶお母さんは、障害の重さに関係なく彼女の普通を大切にしてきました。その人らしい「ふつう」を考える貴

重な時間でした。大西さんの『ひゆうまん京都』の連載は続きます。〈ありがとうございました〉

京障連の副会長、常任委員会は皆勤賞、ご自身は人生の前半を晴眼者、後半を視覚障害者として足跡を残し、現在もなお、92歳の高齢をもとめせず、視覚障害者の文化活動の牽引車としての役割を果たしておられます。この度、京障連の副会長の退任を希望され、引き留めながらも、いつまでも甘えていくわけにはいかないので、了承することになりました。戦前から戦後の社会の激変期を生き、そして中途失明という人生の大きな変化を乗り越えて来られた話を聞くのがいつも本当に楽しみでした。たくさんたくさんさんの財産を残していただきました。たくさんさんの感謝とともに、これからも応援してください。

訂正本紙4月号に誤りがありました。（正）山中聡（誤）浅井ひとみ

池添素（京障連事務局長）

# 私が本当に望む生活とは・

2018年8月29日、京都社会保障推進協議会はラポール京都で「私たちが望む地域（共生）社会を考えるフォーラム」を開催して、障害福祉施設や介護施設、依存症リハビリ施設、弁護士、学者、当事者の家族などさまざまな角度から、「共生社会」とは何か、政府の進めようとしている「共生社会」で本当にみんなが幸せになれるのかを考えました。この集会における大西里江さんの発言です。 (文責・編集部)

## ③病状は進行します

主人は進行性の難病患者です。平てこの選択がいいのか？常に自問し成16年6月、足を骨折して車いす生活します。ましてや痛みがともなう手術、活となり、自宅での生活よりも施設悪化することもあるのでサインする 4月初め、自宅近くの病院が受けでの生活を自ら望み、以前から利用 決断はともつらいものです。昨夏 入れて下さることが決まったので、していたこの施設で、面談時、当時 より状態が不安定になり昨年末入 退園の手続きに行った時、新しく着の職員さん、ケースワーカーさんに 院、初めて人工呼吸器を使用しました。 任された施設長さんが「今年度より

「一生この園で暮らしたいので、宜しくお願ひします」と話していた。 昨年末の入院以外は一度も園に戻り、今までのような経営体制ではな入所時、自宅で車いすを操作して、 ることを拒まれたことはなく、常に 新しく新しい体制になります。園の状態 食事も排泄も出来て、卓球バレーな どうかしたら園で生活出来るかを第一 を御理解して下さって感謝していどの大会にもすすんで参加していま に考えて下さっていた。園には夜間 ます」と言われました。その時はあした。しかし、病状が進んで体を自 人工呼吸器を使用されている方もお まりにもストレートな言葉で、ただ由に動かせられなくなり、7年前に られます。ただ、一日中人工呼吸器 笑みで会釈して帰りましたが、今で胃妻、4年前に気管切開の手術をし を使用する状態では、園での生活は はこの言葉の意味がはつきり分かりました。7年前の胃妻手術の時は、 無理と分かっていたので、人工呼吸 ます。経費のかかる重度の入所者さ

☆

私は経首栄養をお願いしたのです 器が外れたのに、園に戻れると信じ んをどうするのか？それが大きな問 が、主治医と施設側で胃妻と決めて ていたのに、まさか園が、主人の戻 題になっていたのでした。長年共に おりました。又、4年前の気管切開 ることを拒まれるとは思ってもみな 過ごして慣れたところから出ていくの手術の時もエアウェイ対応をお かったのです。 重度障害者の生活を切り捨てるの 願ひすると、施設長さんが「気管切 重症で医療行為があり、安心して は、法人として生き残るためでした。開したので園で看ます」とおっしゃ 過ごしてもらえないという理由で拒 経営不振からの脱却、経営の安定、

ンしました。本人がサイン出来ない 疑問のまま月日が経っていきまし ないといけないためなのです。 状態では、決断するのは家族です。 た。その疑問が解けたのは学習会で

# 車いす視点から社会を斬る!

矢吹 文敏 (日本自立生活センター)

行き当たりばったり!

昨夜寝床に入るときは「来週は特に忙しいイベントは少ないし、明日は朝早く起きて原稿を書いて、医院に行つて、散髪屋に行つて、職場へ顔を出して定例のミーティングに出て、帰りには薬局によつて処方箋の薬をもらつて帰つてこよう。」と思つていた。

朝食が遅かつたにもかかわらず、少々お腹が空いてきたではないか。

連れ合いは朝から仕事に出かけているわけだし、私が職場に出かけるはずと思つているわけだから昼食の準備はない。しょうがないから「佐藤のごはんパック」を温め、レトルトの牛丼を温めて食す。

ところが、まずは最初から寝坊をしてしまう。着替えも朝食も、降圧剤を飲むのもダラダラしてしまう。原稿を書く余裕もなく、散髪店に行く、一七三〇

さらに予定外のことややつてくる。毎日夜の寝る前に行く習慣になつてはいるはずのトイレ(便意)を昼間に催したくなつてきたのだ。

円。一度家に帰つてみると、あまり間を置かずに雨が降ってくる。突然に気分が落ち込み、職場に行くのも止めにしてパソコンに向かった。

私にとつてのトイレは、三文字だけの言葉ではない。車いすから便座までの移乗から始まつて無事に車いすまで戻つてくるのに、30分以上かかつてしまうので、出来れば行きたくないの

だが、しつこく襲つて来るので止むを得ない。

最近になつてからウォッシュレットに改造した便座に向かう。……さすがにトイレの実況中継はここでは止めるが、とにかくも無事に終えた。

さあ、いよいよこれで原稿が書ける、と思いつながら再びパソコンの前に落ち着いた。もちろん、自慢じゃないが、ここに至つて何を書くかが決まつてはいない。

毎日の生活の中で、この次はこのことを書こう、あのことを書こうと思いつくのだが、その都度のメモを残していないために、この事あの事が思い出せない。

この間に職場や地域の自主防災会のことや子ども食堂のことで電話が入る。色々と考えているうちに、迂闊にもまたもやここで転寝(うたたね)をしてしまう。ハッと目を覚ませば、もはや夕方。「えらいこっちゃ!もうす

が医者に行かなきゃ!」と追いつめられて書き始めたのが、この稿の最初。

☆

今になつて思い出したのだが、日本の女子サッカーのチーム名がどうして「なでしこジャパン」なのか。野球チームが「さむらいジャパン」なのかが気になる。

ところが、何ということだ。

ので、出来れば行きたくないの

# 聴覚障害者は訴える

## 趣味について

ろう者の仲間は、多趣味をもつことが多い。登山、バイクツーリング、釣り、サーフィン等アウトドア、将棋、パッチワーク等手芸…。どれも共通できるのは、ろう者の仲間集団で手話で語りながら趣味を楽しんでいることです。手話の輪が広がることで全国的に仲間も増えて全国規模の大会等集まりで偶然に再会し、話が盛り上がることもしばしばあります。

☆

私も多趣味人間の一人です。まず、山登りから始めます。私の父が登山好きだった影響もあって、小学4年の時、立山登山に連れて行かれました。そのあと、地元の仲間が集う会の方々と交流を持ち、山の魅力を伺うことができました。そして、毎夏に北アルプス、中央・南アルプスに

それぞれ登りました。日本百名

山とまではいかないまでも、特に憧れていた槍ヶ岳に登頂したことは、今でも忘れられません。槍ヶ岳登山では、運よく天気恵まれ、360度のパノラマが見渡せる一方、山の上の空気も



おいしく、眺めは最高でした。山々は特徴によって異なりますが、登山道も整備され、一歩踏み外せば、谷底へとのみこまれてしまうような岩場にも、今では鎖やはしごがかけられています。たくさんの人々を迎えてきた槍ヶ岳から見る他の山々は、今も昔もきつとその姿は変わらないのだと思います。最近では、活動でなかなか登山したくても我慢しているところでは、活動の合間に、次はどの山に登ろうかと夢見るのも楽しい時間。

2つ目はスキーです。私が青年部に入る前に京都府聴覚障害者協会青年部からお誘いがあった、ことができました。正月スキーに連れて行ってもらいました。初めての経験で慣れな

り、続けたいと思っています。登山とスキーは体力が続く限

☆

り、他の趣味がたくさんあります。助けてもらい、毎冬に家族や仲間と共に出かけられるようになりました。最近では昨年3月に6年ぶりスキーに出かけ、滑れるかと思いき



高山正紀

(京都府聴覚障害者協会理事) 5

# 車いす裁判における尋問の重要性

弁護士 大江智子

尋問は、裁判手続きの中の証拠調べ方法の一つであり、当事者（本件ではジョナさん）や関係者（本件ではお母さん、車いすの制作にかかわってください）の方、美大生の頃を知る大学教授等）から法廷で直接お話を聞く手続きです。

民事裁判は、準備書面や書面での証拠提出をすることが多いため、どうしても毎回の裁判では書面の提出をして終わってしまい、傍聴していただいている皆さんには、何が行われているのかよく分からないかと思えます。これは、傍聴席にいらっしゃる方だけでなく、裁判官も同じです。双方が提出した書面を読んで、証拠を読んで事実関係や争点を理解した「気」になっ

ているのです。

しかし、今回のジョナさんの裁判では、①ネックサポートについては、一般的に使用されているネックサポートでは彼の障害に耐えられず、特別に作られたネックサポートが必要であること、②昇降機能については、彼

の使用している車いすが一般的な車いすとどう違うのかを理解する必要や、彼や大学の教授から話を聞き、絵を描くときなどに昇降機能をどう使っているのか、昇降機能がないとどうなるのかを確かめる必要があります。

のことは、当事者に聞かなければわかりません。また、補装具費事務取扱指針には、補装具の支給にあたり障害者の身体の状況、職業、教育、生活環境等の諸条件を考慮して真にやむを得ない事情があれば支給すべき、と規定されていますが、これも当事者がどのような教育、職業、生活環境を望むのかという観点から真の必要性を検討する必要があります。

が大学でのデッサンをしたり、ライブペインティング（観客の前で大きなキャンバスに即興で絵を描くイベント）をしたり、美術館や書店で配置物を見たりすることに昇降機能が必要不可欠であることが争いになっていまして、これらの争点についてその必要性をきちんと確認するには、彼の車いすの機能について専門家から説明を受けたり、車いすそのものを見たりして、彼の

そもそも、昇降機能を含む特例補装具の支給を定める障害者総合支援法は、その基本理念において、障害の有無に分け隔てられることなく社会参加の機会や選択の機会が確保されるよう、その障壁となるものの除去に資することを旨として障害者を支援すべきと謳っています。が、当事者がどのような形で社会参加を望んでいるのか、そのために何が障壁になっているのかは、当事者に聞かなければわかりません。また、補装具費事務取扱指針には、補装具の支給にあたり障害者の身体の状況、職業、教育、生活環境等の諸条件を考慮して真にやむを得ない事情があれば支給すべき、と規定されていますが、これも当事者がどのような教育、職業、生活環境を望むのかという観点から真の必要性を検討する必要があります。



# 2+2=詩

## 「空っぽの家」

昔の家についてみた。

今は誰も住んでいない。

寒々しい家だ。

今は物もなにもない。

がらんとした家だ。

今もなにもいい思いでない。

忌々しい家だ。

こんな家はさつさと潰れてしまえ、潰れてしまえ。

昔の家にいつてみた。

昔も今も変わりのない、

寒々しくがらんとして忌々しい家だった。

## 「空っぽの街」

人のいない街を歩いている。

建物は並んでいる。明かりは灯っている。

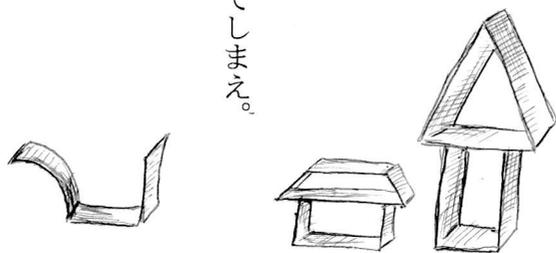
確かに人はいるはずなのに、姿が見えなくて、

まるで別の世界に迷い込んだようだ。

人のいない街。形だけの街。空っぽの街。

それがとても心細くて、とても伸び伸びする。

きつと僕も空っぽなのだ。



## 「梅雨のある日」

雨があんまり強いから、ナメクジ慌てて物陰に。

湿気が好きな僕だけど、さすがにこれは耐えられない。

紫陽花の花の屋根の下、ほっと一息ついている。

ざんざんぶりの雨から逃げて、カタツムリは殻の中。

家を担ぐのは大変だけど、こういう時には便利なものさ。

時々目を出し様子を見ながら、雨が止むまで一休み。

止まない土砂降り雨の中、カエルはのんびり屁の河童。

どれだけ降っても大丈夫。

もつとふれふれもつとふれ。

分厚い雲を見上げつつ、ケロケロ陽気に歌ってる。

## 「目隠しと耳栓」

醜いものから目をそらす。

汚い音に耳をふさぐ。

それで解決しはしない。わかっているけど、それでもだ。

辛いものから逃げ出して、それが悪いことなのか。

嫌なもの、きついこと、醜いことが世の中には溢れかえっている。

だから目をつぶり耳をふさいで、ごまかしながら歩いてく。

ごまかさないと歩けない。

作・赤富士文兼 挿絵・水口萌恵

# 尊厳ある暮らしの保障

## —生活保護制度のイロハと明日

中野加奈子（大谷大学准教授）

### （6） 女性の貧困

日本では、女性であることと、貧困に直面することには深い関連があるとされています。生活保護基準の引き下げに対して裁判を起こし闘っている「京都新・生存権裁判」の原告にも、何人も女性がいます。

となりました。そのため年金を受給するようになってからも働き続けた、と語ります。しかし体調を崩してしまい、自力では生活が維持できなくなりました。

☆

ある方は、「女は教育を受ける必要はない」と言われて、中学卒業後からずっと働いてきました。結婚もしましたが、いろいろな事情が重なり離婚しました。一人になってからも働き続けました。正社員であっても給与水準は男性より低く据え置かれました。非正規でしか雇用してもらえない時期もあり、老後受け取る年金は極めて低いもの

教育を受ける機会において差別を受けています（データは内閣府「男女共同参画白書 平成30年版」より）。

二つ目は、教育の問題とか変

わるのですが、低学歴や妊娠・出産のために条件の良い就職が叶わなかったり、女性の賃金が男性よりも低いという労働の問題が関わります。2017年の賃金構造基本統計調査では、男性を100とした場合の女性の賃金が73・4にとどまった、という結果が出ています。

また、1976年に民法が改正され婚姻中の氏を使用できるようになるまでは、女性たちは離婚すれば元の氏に戻らざるを得ず、嫌が応にも離婚したことが世間に知られてしまいました。そして、離婚することは我慢が足りないだとか、きちんとした家庭ではないとか、いろいろなバッシングも受けてきました。

☆  
こうした女性に対する差別問題を私たちは重く受け止めていく必要があります。これはまず第一に女性の人権を守るためです。また、女性に対する不平等は男性にも影響します。女性、が低賃金であるがゆえに、生計を維持するために男性が長時間労働になる、といった問題も引き起こされます。次世代を担う子どもたちの成長にも関わります。誰かに対する不平等は、その他の人々に対しての不平等にもつながります。こうした不平等を是正するのが、全ての人の最低限度の生活を保障している「生活保護」の役割ではないか、と思います。

次回・・・（7）「いのちのとりで

裁判全国アクション」の取り組みについて 6月開催予定の原

# 背中を伸ばしてついでついでと一緒にはしゃぎ歩

## すぎな（訪問看護師）

### 52 ミーティング

職場で毎月事例検討会を継続している。それ以外にも毎朝のミーティングで、気になっていられる方の情報交換とその場で考えし合っている。当然、いつも穏やかに話し合っているわけではなく、価値観の違い、立場の違いからくる状況の見え方、経験や得意・不得意、思い入れの強さ、などで意見の相違はよくあることで、ついついヒートアップ寸前、ということも多い。

☆

ある朝のミーティング。自分の受け持ちの療養者さんの体調と家族の介護状況などを報告していたところ、全体を見る立場の私とその療養者の思いを大事にしたいスタッフとで意見が対

立した。お互いに自分の見えて

いるところからだけで意見を言っている間は、すれ違ったままである。この時もそう、2〜3日同じような議論を繰り返した後、私がしぶしぶスタッフの意見を通す形で収まった。事例を検討するとき、担当しているスタッフもその療養者が感じていように困難や苦悩を感じていることがあり、療養者と一緒に悩みながらスタッフが自ら考え経験して育っていく。先を見過ぎてダメだと解っていても、ついつい口を出したくない

反省した。また、ある日のミーティングでは、自分の受け持ち療養者さんのケアについて相談したスタッフに対して、みんなで色々検

討して方策を考えたのは良かったが、何だかそのスタッフはすつきりしない表情をしている。「いろいろ言っていただけだ。」後ではうれしかったのだけれど、よく話を聴いてみると、今までも自分なりにその時々相談しながらやってきた。それでもなかなかうまくいかず、壁に突き当たってしまったという。おそらく、そのスタッフが相談したかったのは、療養者のケアの方策などではなく、困っている自分を解ってほしかったし、今まで自分なりに頑張ってきたことを認めてほしかったということであつたのだろうと思う。患者さんや家族とのコミュニ

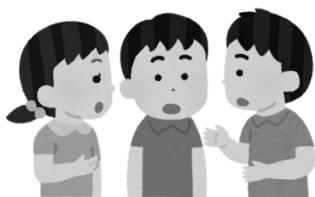
ケーションでは、言葉で直接表現できないその人の思いをくみ取り、引き出し、推し量ってその人の気持ちになり切って理解をし、対処と一緒に考えることが必要になってくる。看護師としてコミュニケーションは一通りできるようになっていても、特に仲間内ではそういった配慮が働きにくい。

☆

事務所でのミーティング、すべて丁寧に記録できていれば結構な情報量になる。ところが、なかなかそれができておらず、もともと記憶に自信がないくせに記録もせず言い放しの状態。あの時どうだったかとあとで振り返って、慌てる人が多い。

「なんだかあの時のカンファレンスで、患者さんの対処の仕方が納得できた気がしたんだけど。あれなんでだっけ？」

私たち結局、同じことを何度も話し合っていたりして。



## 視覚障害者の サークルめぐり(90) クラブ員の思い

太鼓サロンは、毎月第1木曜日の午後1時半から、京都ライトハウス音楽室で活動しています。

執筆者は、自宅で鍼灸院を営むかたわら、フルマラソンや気道などで体を鍛え、囲碁にも親しまれ幅広い趣味をお持ちです。網膜色素変性症が徐々に進行しているそうです。

### 和太鼓との出会い (竹中良一)

和太鼓は楽器の一つであり、日本の太鼓の総称です。大きく分けて長胴太鼓(宮太鼓)、桶胴太鼓、附締太鼓の3種類があります。祭礼、歌舞伎、能、神社仏閣における儀式などに用いられる楽器で、木でできた胴に張った皮を振動させて音を出すのです。

和太鼓は、縄文時代にはす

に情報の伝達手段として利用されておられ、中世になると田楽の発達などによって盛んになりました。江戸時代には、祭礼行事の伴奏としての演奏のほかに、太鼓好きが集まって打つ「のら打ち」なども行われました。今日では盆踊りの主役として演奏され、神と意思を伝達する手段として用いられたりしています。また、各種イベントのオーピングで演奏されたり、ランナーを励ますためにマラソンの応援で使われたりする場合も多くなってきました。

私は、平成になってから網膜色素変性症と診断され、視覚障害者になりました。その網膜色素変性症の進行を抑えるため、血流を良くする治療の一環でマラソンに挑戦してきました。3キロや10キロの大会ではあまり見かけませんが、ハーフやフルマラソンになると必ずと言ってよいほど和太鼓の応援があり

ます。例えば、福知山マラソン、京都マラソン、泉州マラソンなどです。走っている私にとっては、西洋の打楽器の音よりも和太鼓の方が励ましになります。

視覚障害者のマラソンの伴走者に連れてもらったのがきっかけで、和太鼓の演奏会に行く機会に恵まれました。すごい迫力と会場いっぱいには漲る音響にびっくりました。その後、プロの演奏会に出かけるようにもなりました。プロの盲目和太鼓演奏者片岡亮太さんの演奏も聴き、視覚障害者である私にもできるのではな

いかに思いました。私はもうすぐ70歳、古希を迎えます。高齢になっても、今度は応援側にまわって演奏したいと思うようになります。

その様な時、京都ライトハウス太鼓サロンでは、それぞれの力に合った打ち方で演奏を楽しめることを知り、参加しました。サロン活動では、リーダーとして時にはサポーターとして大学生の力を借り、皆でテーマに沿って曲を作ったりしています。他の団体からイベントのオーピング演奏を依頼され、演奏活動に参加することも多

くなってきました。毎年10月最終日曜日のライトハウスまつりでは、オーピングを飾り皆さんに楽しんでもらっています。練習を積み重ねてきた曲を会場いっぱいの方々の前で演奏することは、大きな喜びであり、励ましの声援から大きな力をいただいています。



# 知っ得情報

## 読めるラジオ

松本 美津男

ラジオ番組を文字化している放送局があります。これなら聴覚障害者でもラジオ放送の内容にふれることができます。

調べてみると七つのラジオ放送局が番組の文字化をしていることが分かりました。放送内容全部を文字化しているわけではありませんが、例えばNHKは「選りすぐりのトークやコーナーをまとめました」と説明しています。

見つけた放送局を紹介します。

〈インターネットで読めるところ〉

NHKの「読むラジオ。」(<http://www.nhk.or.jp/radio/magazine/>)

TOKYO FMの「TOKYO FM+」

(<https://tfm-plus.gsj.mobi/news/index.html>)

〈SmartNewsとウェブアプリ経由で読めるところ〉

TBSラジオ、ニッポン放送、J-WAVE、MBS、CBCラジオ、

TOKYO FM

アプリを開いても、これらがどのカテゴリーに入っているのかわかりにくいので、「一番右端の「もっと」をクリックし、出てきた「チャンネルを検索」と書かれたところに放送局名を入力するか、あるいは「ラジオ」と入力すれば、たどり着けます。



## あなたもぜひ 仲間に

サロン・サークル・地域活動展開中  
生活支援スタッフ(資格不要)募集中  
介護職員(資格要)募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう  
元気な高齢者はもっと元気に

「よろず相談」承ります(随時)



あなたも支える存在に

京都市北区紫野東野町1-5  
電話075-432-3636

## 命の平等をかけた、 無差別平等の医療と 福祉の実現をめざす

### 働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介ください



## 京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階

TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017

Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>

e-mail: [info@kyoto-min-iren.org](mailto:info@kyoto-min-iren.org)

ありがとうございます

■年会費 竹内三紀子・櫻田朋子・角井俊之  
■分担金 中丹障害児者の福祉と教育を豊かにする会・保健福祉の会・京都市職員労働組合民生支部・青年法律家協会京都支部  
(敬略 2019/6/17)

### ■2019年度春季特別展「よみがえる沖縄 1935」

日時：～6月29日(土)9:00～16:30  
場所：立命館大学国際平和ミュージアム  
内容：アジア太平洋戦争末期、過酷な戦火にさらされた沖縄。その10年前、沖縄には人々の平和な暮らしがありました。にぎわう那覇の市場、のどかな軌道馬車、糸満の漁師たちが暮らす一方で忍び寄る戦争の影。朝日新聞の記者が1935年に撮影し、「海洋ニッポン」という記事に掲載した写真には、貴重な戦前の沖縄の営みが写し取られていました。沖縄戦で一変した沖縄。戦前の沖縄の生活の中にも戦争の影響がひそみ、その後の沖縄と日本全体がたどった道とを合わせて考えることで、1935年以降、現代にもつらなる沖縄をめぐる問題に迫ります

入館料：400円

問合せ：465-8151(立命館大学国際平和ミュージアム)

### ■相模原殺傷事件から3年—なにが問題か？あなたはどうする？

日時：7月26日(金)13:30～16:30(13:15開場)  
場所：ひと・まち交流館京都ホール(河原町正面)  
内容：ミニ講演「相模原殺傷事件が問いかけるもの」隅河内司さん(元相模原市職員、

田園調布学園大学教授)、発言、ミニライブ。映画『夜明け前—呉秀三と精神障害者の100年』(66分、2018年)

参加：参加自由・無料・手話通訳あり。

問合せ：<相模原殺傷事件から3年—なにが問題か？あなたはどうする？>実行委員会(465-5451)

### ■平和のための京都の戦争展

日時：7月29日(月)～8月4日(日)  
場所：立命館大学国際平和ミュージアム  
内容：戦争反対 ころから訴えます 君につたえる 君がつたえる メイン企画「高石ともやフォークフェスタ」(8月4日11:00～13:00)

問合せ：231-3149(機関紙協会)

### ■壊憲ダメ！ 松元ヒロライブ

日時：8月18日(日)午後2時～4時(開場1時)

場所：福祉広場1階ホール(白梅町交差点北へ2筋、西入ル50m)

内容：ドキュメンタリー映画『誰がために憲法はある』で、俳優・渡辺美佐子が演じる一人芝居「憲法くん」がポピュラーになりました(「私の姓は日本国、名前は憲法です・・・最近、変なうわさを耳にしたんですが。私がリストラ(改憲)される・・・」という独白)。ヒロが演じる「憲法くん」は、憲法前文や9条の条文を暗唱しつつ、「人間ならば70代はまだまだ現役。もっと日本のために働きたい。だから、どうかもっと自分(憲法)について知って見て、考えてみてほしい」と訴えます。披露する芸は多彩、その至芸を目の前で愉しめます。戦前へと回帰しようとする安倍政権の矛盾や理不尽を笑いのめして斬ります。

木戸銭：1000円

問合せ：実行委(465-5451)